

高校生の私たちが インターネットの 活用について考えました

高校生ICT Conference 2018



高校生ICTカンファレンス2018長野大会からのメッセージ

今年度も、「高校生ICTカンファレンス 2018 長野大会」が開催され、県内10校の高校から42名の高校生が集まりました。参加した高校生は、身近なスマートフォンやインターネットの問題について、自ら考え、他の人の意見を聞きながらグループで熟議し、テーマ「社会で活躍するためのICT活用法」について学校ごとに意見をまとめて発表し、課題を共有しました。



グループでの熟議の様子

【参加校】（大会当日の発表順）

高遠 松本工業 松川 上田東 飯山 箕輪進修 豊科 明科 松本美須々ヶ丘 松本深志

みんなで考えよう！ ～インターネットの正しい使い方とは～



熟議の中では、まずインターネットの適正利用について考える必要があるとの指摘が、各グループから上がりました。

「情報発信には気をつけないといけない」

「依存しすぎてはいけない」

「自分で決めた自分のルールが必要だ」 など

ICT活用
に際しては

これらは、「もうすぐ大人になる自分たちが、責任ある行動を心掛けたい」という、参加した高校生からのメッセージです。あなたも自分で気をつけたいことを具体的に考えて、友だちと話し合ってみましょう。



私は、

に気をつけます！

(例) 個人情報の管理、画像などの投稿、スマートフォンなどの利用時間、学校や家庭でのルールづくり など

私たちはすでに行動しています ～長野大会後の参加校での取組～

各学校での取組

- 生徒会で全校討論会を開催した。(松川)
- 生徒・保護者・教職員の三者協議会で「社会に出るために必要な力」をテーマにした。(箕輪進修)
- 生徒会が中心となってスマートフォン使用についての生徒協議会を開催した。(豊科)
- スマートフォン使用のルールを全校で統一することを検討している。(明科) など



困ったときはこちらに相談「学校生活相談センター」

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/sodan/sodan.html>)



中央省庁への提言をしました



《松本深志高校が全国大会(サミット)へ》
長野県代表となった松本深志高校は、全国大会においても高く評価され、高校生としての考えを文部科学省などに提言しました。

- ⇒ ICTを適正に活用するためには
- 相手がいることを考え、
 - ICTを使う目的をしっかり意識し、
 - 能動的に利用する
- ⇒ 新しいICT教育を進めるためには
- 高校生と大人と一緒に取り組む

ことが必要

ことが必要